

令和4年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	人道救援物資備蓄経費			担当部局庁	国際平和協力本部事務局			作成責任者	
事業開始年度	平成9年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	-			参事官 後藤 一也	
会計区分	一般会計								
根拠法令(具体的な条項も記載)	国際連合平和維持活動等に対する協力に関する法律(第30条)			関係する計画、通知等	-				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国際連合平和維持活動等に対する協力に関する法律(平成4年法律第79号。以下「国際平和協力法」という。)に基づき、国際連合平和維持活動、人道的な国際救援活動、国際的な選挙監視活動及び国際連携平和安全活動に対し、適切かつ迅速な物資協力を行うことを目的とする。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	国際連合等から国際連合平和維持活動、人道的な国際救援活動、国際的な選挙監視活動及び国際連携平和安全活動への物資協力の要請を受けた場合、迅速に対応できるよう人道救援物資等の調達及び備蓄(物資の保管・管理)等の業務を実施している。								
実施方法	直接実施								
予算額・執行額(単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求		
	予算の状況	当初予算	117	92	156	146	210		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
	計		117	92	156	146	210		
	執行額		141	88	113	-			
	執行率(%)		121%	96%	72%	-			
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		121%	96%	72%	-			
令和4・5年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目		令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由				
	国際平和協力業務庁費		142	206	重要政策推進枠:99				
	国際平和協力業務旅費		3	3					
	計		146	210					
活動内容(アクティビティ)	人道的な国際救援活動に協力するため、「国際連合平和維持活動等に対する協力に関する法律」に基づく物資協力について、国際連合等から国際連合平和維持活動、人道的な国際救援活動、国際的な選挙監視活動及び国際連携平和安全活動への物資協力への要請を受けた場合、迅速に対応出来るよう人道支援物資を備蓄する。								
活動目標及び活動実績(アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
		備蓄物資を使用した物資協力の回数	活動実績	力所	1	0	0	-	-
			当初見込み	力所	-	-	-	-	-
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	X(執行額)÷Y(物資協力回数)			単位当たりコスト	円	131,016,459	0	0	-
				計算式	/	131,016,459/1	88,378,361/0	112,795,069/0	-
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標年度	目標最終年度
			成果実績	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)	-								

点検・改善結果	点検結果	<p>1. 物資の調達 備蓄5品目は、備蓄目標数を2万人分とし、物資調達は一般競争入札により実施。</p> <p>2. 備蓄(保管・管理) 物資協力を迅速に実施するため、中東・アフリカに近く、輸送網の発達しているドバイに物資を保管し、倉庫借上げ業者は一般競争入札により決定。</p> <p>3. 備蓄物資の仕様の見直し 輸送や備蓄の効率化及びジェンダーバランスへの配慮等から、テントの軽量化、スリーピングマットの改善に取り組んだ。</p> <p>4. 備蓄品目の見直し 備蓄物資のサンプルを購入し、機能や品質の検査・検証を行うなど、新たな備蓄品目の可能性について検討を進めている。</p> <p>5. 我が国が、国際平和のための努力に寄与するため、引き続き、効率化を進めつつ、適切に実施していく必要がある。</p>
	改善の方向性	本事業については、引き続き適切に実施していく必要がある。また、国際情勢、国際機関からの要望やジェンダーバランスへの配慮等新たなニーズを踏まえ、引き続き、備蓄品目の仕様の見直しや新たな品目の追加を検討する。

外部有識者の所見

点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

現状通り

一者応札の是正及び効率的執行に努め、調達計画に則して、適切に概算要求に反映させること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現状通り

引き続き一社応札の是正及び適切な執行、予算要求に努める。

備考

○公開プロセス

対象年度:平成22年度
レビューシート番号・事業名:157・人道救援物資備蓄経費
結果:大幅な改善を含め検討する。

とりまとめコメント:

- ・JICAや自治体や民間との連携などの見直しや倉庫をバーチャルにできないかなどを検討する必要
 - ・備蓄量に関しては海外との比較が必要
 - ・仕様を見直すなど、調達にあたっては、実質的競争の確保ができるよう、一層の工夫が必要
- 内閣府国際平和協力本部HP http://www.pko.go.jp/pko_j/operations/relief.html

○公開プロセスに対する点検・改善結果

1. 物資の調達

備蓄品目については、平成22年度までの7品目を平成23年度から5品目に見直すとともに、備蓄目標についても平成22年度までの3万人分を平成23年度から2万人分に見直し。

2. 備蓄(保管・管理)

平成23年度に国内倉庫を廃止し、海外倉庫に1本化するとともに、海外倉庫についても一般競争入札により委託先を決定。

3. 備蓄物資の相互融通(自治体等との連携)

平成23年3月に発生した東日本大震災への対応として、緊急対策本部の要請を受け、国内倉庫(当時)に備蓄していた毛布1万枚、給水容器7千5百個、ビニールシート4千枚を、物品管理法に基づき内閣府政策統括官(防災担当)へ管理換を行なうことにより提供(平成22年度)。

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度	0164			
平成24年度	0158			
平成25年度	0112			
平成26年度	0109			
平成27年度	0118			
平成28年度	0114			
平成29年度	0118			
平成30年度	0124			
令和元年度	内閣府	-	0133	
令和2年度	内閣府		0134	
令和3年度	2021	府	20	0151

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)	内閣府国際平和協力本部 113百万円 (物資の調達、備蓄(保管・管理)等)					
	【一般競争契約(最低価格)等】 A. 新陽株式会社 他1社、2名 106百万円 (人道救援物資の調達、購入備蓄品納品前検査旅費)		【一般競争契約(最低価格)】 B. 三井倉庫株式会社 6百万円 (人道救援物資の保管管理等業務等)			
費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.新陽株式会社			B.三井倉庫株式会社		
	費目	使途	金額(百万円)	費目	使途	金額(百万円)
	物資購入費	被災民救援用テントの購入	82	物資備蓄管理費	人道救援物資等の管理料及び搬出入料等	6
	物資購入費	被災民救援用スリーピングマットの購入	12			
	計		94	計		6
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載					チェック	

支出先上位10者リスト

A.

順位	支出先	法人番号	業務概要	支出額(百万円)	契約方式等	入札者数(応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策(支出額10億円以上)
1	新陽株式会社	1010001045703	被災民支援用テント購入	82	一般競争契約(最低価格)	3	90%	-
2	トーコーコーポレーション株式会社	1010001122667	被災民支援用ビニールシート購入	12	一般競争契約(最低価格)	3	83%	-
3	新陽株式会社	1010001045703	被災民支援用スリーピングマット購入	12	一般競争契約(最低価格)	2	90%	-
4	個人A	-	旅費(個人)	0	その他	-	-	-
5	個人B	-	旅費(個人)	0	その他	-	-	-

B

順位	支出先	法人番号	業務概要	支出額(百万円)	契約方式等	入札者数(応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策(支出額10億円以上)
1	三井倉庫株式会社	8010401114448	人道救援物資等の管理料及び搬出入料等	6	一般競争契約(最低価格)	1	82%	